

中学校給食の取組状況について

1 令和8年度に向けた契約等の締結について

令和6年第1回市会定例会にて可決いただいた債務負担行為の設定額の範囲内で優先交渉権者との協議を行い、**A区分では委託契約を、B区分では基本協定を締結しました。**

今後、令和8年度に向けて、新たな取組も含め着実に準備を進めます。

(1) A区分：市有地を活用した調理・配送等業務委託（運営：15年間）

【相手方】調理・配送等業務委託契約：**ハーベストネクスト**株式会社
事業用定期借地権設定契約：**横浜スクールランチ**株式会社*

※ハーベストネクスト株式会社の100%子会社

【契約スキーム】ハーベストネクスト株式会社からの申出を受け、15年間にわたるより安定した事業運営を行うため、**当該事業者を代表企業とし、横浜スクールランチ(株)を構成員とする共同企業体を結成し、下記イメージ図のとおり一体となって本委託業務を実施。**

【主な内容】**(衛生管理)** HACCPに基づく衛生管理、HACCP関連書類の提出義務
(地域貢献) 雇用の創出、周辺地域への配慮、地域交通への配慮、周辺企業との連携、附帯事業の実施
(災害対策) 備蓄倉庫、炊き出し用調理器具の配備
(危機管理) 不測の事態に備えた事業継続計画(BCP)策定の義務化
(環境負荷軽減) 省エネ設備の導入や太陽光発電設備の設置など、脱炭素社会への貢献

【契約期間】**令和6年4月30日～令和23年3月31日**

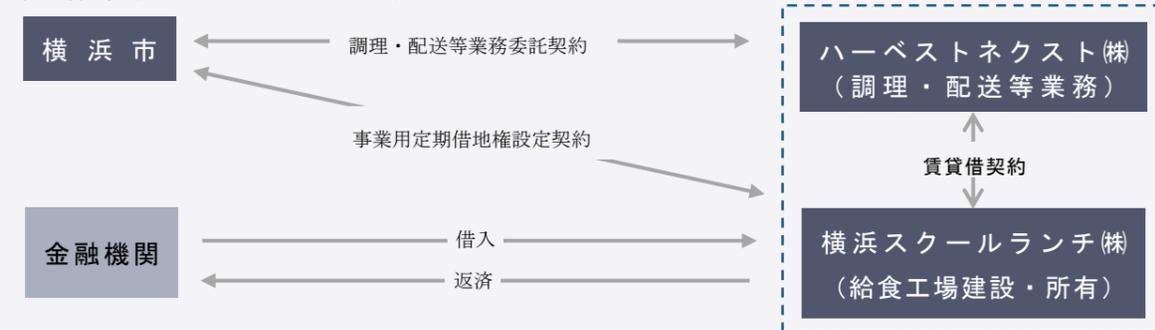
※事業の実施期間は令和8年4月1日～令和23年3月31日

※契約期間経過後、建物の所有権は市へ移転予定

【契約金額】**約490億円(約33億円/年)**

【市有地貸付料】**6,611,701円/月(15年総額：約11.9億円)** ※令和8年4月1日から徴収

(参考) 契約スキームのイメージ図



ハーベストネクスト株式会社

借入金の負担を負わないことから財務を悪化させることなく給食の調理配送を行うことが可能

横浜スクールランチ株式会社

建物の所有に特化した企業であり、中学校給食事業により安定した収入が見込めることから金融機関からの出資・融資を受けやすくなり安定的な施設保全へとつながる

(2) B区分：民間工場を活用した調理・配送等業務委託（運営：5年間）に向けた基本協定

【相手方】**美幸軒、東華軒グループ**、**安田物産、山路フードシステム**

※美幸軒（代表構成員）と美幸軒（その他の構成員）の共同企業体

【主な内容】・委託契約の締結に向けて、相互の義務の遂行に最大限の努力を払い、それぞれ誠実に対応すること（本市及び本事業予定者の義務）
・募集要項等を踏まえ、令和8年度からの本委託業務の実施に向け、準備を進めること（委託業務の実施に向けた準備）

【事業期間】令和8年4月1日～令和13年3月31日

【今後の予定】**契約締結に向けた準備を進めます。**

2 B区分の一部エリアの再公募について

B区分のうち事業予定者が決まっていない市内の一部エリアにおいて、**プロポーザル方式による事業者公募**を開始しました。

【事業期間】令和8年度～令和12年度の5年間

【想定募集食数】**14,000食程度/日(4区5エリア)**

【募集概要】市内に工場を新設し給食を提供、または民間事業者の既存工場を活用して給食を提供する。

【スケジュール(予定)】

令和6年5月10日 募集要項等の公表

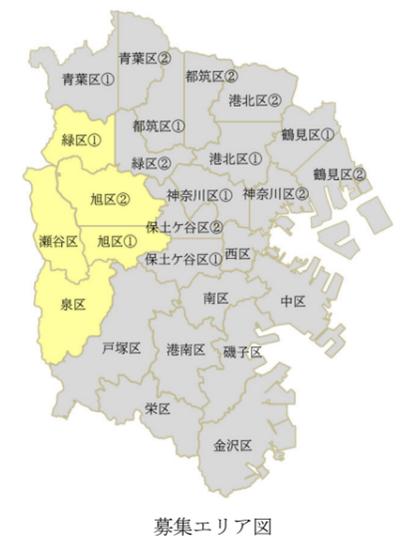
5月24日 第一次審査(参加資格)の実施結果通知

6月28日 提案書に関する書類の提出期限

7月下旬 第二次審査(ヒアリング)の実施

8月上旬 優先交渉権者の決定

→速やかに基本協定締結



(参考) 令和8年度以降の食数の割当て

公募区分	食数の割当て※	割合
市有地の活用(A区分)	約28,000食(7区)	35%
民間工場の活用(B区分)	約53,000食(11区)	65%

3 令和6年度の利用状況について

令和8年度からの全員給食を全校でスムーズにスタートできるよう、中学校給食推進校^{※1}を令和6年度は**18区34校に拡大（令和5年度11区18校）**しました。

また、さくらプログラム^{※2}の全校実施や中学校給食プロモーション等の利用促進に努めた結果、**令和6年4月の喫食率は44.8%となり、特に1年生は51.9%と半数を超え、中学校給食推進校においては82.6%**となりました。

令和7年度は、更に利用者が増えることが見込まれますので、現行事業者の設備増強など更なる供給体制の強化を行うよう事業者と調整してまいります。

(※1) 中学校給食の利用を年間を通して原則とし、食数が大幅に増えることに備えた効率的な配膳方法や、より良い給食に向けた取組のモデル実施など様々な効果・検証を行う学校

(※2) 生徒の荷物の負担などを軽減し、スムーズに中学校生活に移行するために、4月からの一定期間、新1年生は、中学校給食の利用を推奨する取組

(令和6年4月と令和5年4月の比較)

	令和5年度	令和6年度	差し引き
1年生	46.3% (85.7%)	51.9% (82.6%)	+5.6pt (-3.1pt)
2年生	36.7% (76.1%)	45.7% (80.5%)	+9.0pt (+4.4pt)
3年生	32.9% (75.8%)	37.2% (73.6%)	+4.3pt (-2.2pt)
計	38.6% (81.6%)	44.8% (81.0%)	+6.2pt (-0.6pt)

※ () 内は推進校の喫食率

4 令和8年度全員給食の実現に向けたロードマップ

取組内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度
供給体制の確保	工場建設	開業準備	全員給食の開始
	一部エリア再公募		
配膳環境整備/ 新しい取組検討	配膳環境の整備（配膳室の設計・工事等）		献立改善の取組
	学校を含めたPJでの検討		
	マニュアル整備	学校への研修	

【コラム（その1）】中学校給食推進校における汁物食缶試行実施の様子

令和8年度からは汁物を食缶方式へと変更したうえで、改善要望の多い副菜を減らし、汁物の具材を充実させることにより、**生徒がより一層食べやすい献立づくり**を目指します。**カレーやシチューなど、これまで汁物での提供が難しかった献立についても食缶で温かく提供**できるようになりますので、今まで以上にバラエティに富んだ献立づくりを進めます。

令和8年度に向けて中学校給食推進校の協力を得ながら、効率的な配膳方法や衛生管理、具沢山の汁物献立について、外部機関や**生徒の意見を聞きながら検討**してまいります。

(写真) 汁物食缶試行実施の様子（令和5年度）

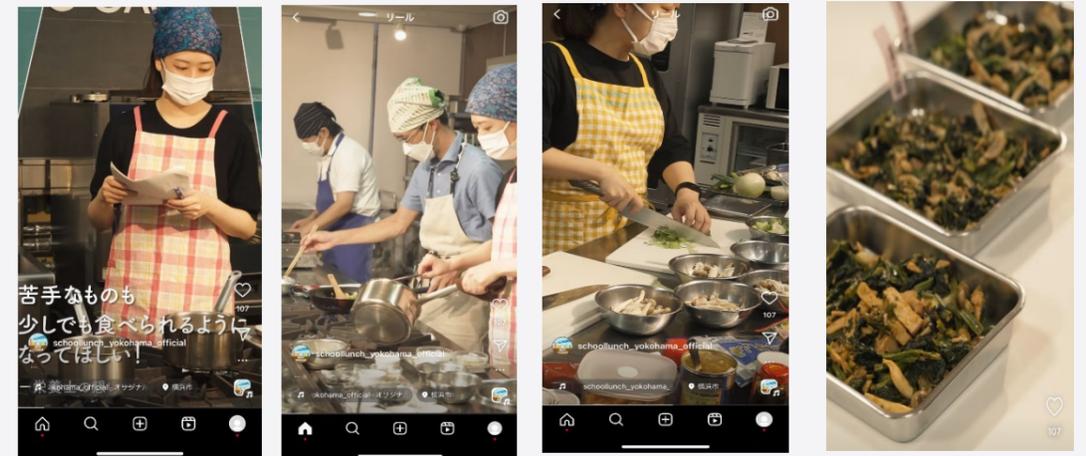


【コラム（その2）】栄養士による献立改善の取組

中学校給食の保護者向け試食会のアンケートで、**不満・やや不満の割合が高かった献立を中心に、原因を分析し、献立改善**を行いました。

令和6年度は、引き続き保護者向け試食会のアンケートを活用するとともに、**計画的に学校を訪問し生徒の意見を直接聞きながら、献立改善**に取り組みます。

(写真) 生徒が苦手と感じることが多い「きのこ、青菜」の献立改善の様子



※横浜市中学校給食公式 Instagram から抜粋